



広報

かなぎ

編集と発行

金木町企画室

青森県北津軽郡金木町
大字金木字朝日山323
電話☎2111 内線240

ことしは僕が主役 よろしく!



1999

1

No.393

今香織さん(畑中)が飼って
いる「ピョン太」雄1歳

新年明けまして

おめでとーございます



町長 鳴海義男

-年頭の辞-

新年明けましておめでとー
ございます。

町民の皆様におかれまして
は、決意新たに輝かしい新春
をご家族でお迎えのことと心
からお喜び申し上げます。

二十一世紀を目前にして今
世の中は激動の時局を迎えて
おります。昨年は「不況、不

景気」という言葉に代表され
るように暗いニュースが多か
ったように思われます。その
ため、地方分権がささやかれ
ている中、地方財政を取り巻

く環境はひつ迫の一途をたど
っています。

当町においても、少子・高
齢化の波が押し寄せ、医療機
関を含めた福祉関連施設の充
実や、基幹産業である農業問
題の振興など課題は山積して
おります。

しかしながら、皆様ご存じ
のとおり昨年は、世界的にも
偉大な作家であります太宰治
の生家が太宰治記念館「斜陽
館」としてリニューアルし、
約十万人の観光客が入館して

います。太宰生誕九十周年の
今年も、多くの観光客の来町
が予想されます。今年七月に
は、待望の観光物産館も完成
する見込みで、訪れる観光客
に町の名所や特産品を幅広く
PRして、芦野公園や「十二
本ヤス」などを含めた奥津軽
の情報発信の拠点にしてい
きたいと思っております。

また、来年四月に始まる介
護保険制度に合わせ、この三
月にはデイサービスセンター
が完成します。さらに、これ
に接続させて今年も、高齢者
生活福祉センターも整備する
予定であり、全町民が安心し
て介護サービスを受けられる
ように施設を充実させていき
ます。そして、昨年末には町
の指針であります第三次金木
町総合計画も策定されました。
「灯台下暗し」のことわざも
ありますので、しっかりと足
元を見つめ、様々な諸施策を
展開していきたいと思ってお
ります。

本年も町民の皆様が健やか
に過ごされますことを願いま
して、新年のごあいさつとい
たします。

今年 は 卯 年

今年(今年)は卯年。十二支の四番
目のうさぎ年です。卯は東の
方角、また「卯の刻」といえ
ば、午前六時ごろを指します。

明治中ごろから 日本でも飼育

うさぎは、ウサギ科の哺乳
類です。うさぎという耳が
長く、目が赤く、毛は白、ピ
ョンピョンと跳ねる動物を思
い浮かべますが、これはわた
したちがよく見る日本白色種
で、ほかにも多くの種類がい
ます。毛が白黒(または白茶)
でパンダウサギとも呼ばれる
ダッチ、耳の下がたろつぽ
イヤ、耳の短いピーターラ
ビットなどです。

うさぎが家畜化されたのは
十二〜十三世紀ごろといわれ
その後、ポルトガルの航海者
が食糧の補給源として各地に
広めたとされています。第一
次世界大戦のころはヨーロッ
パ各地で食用用、毛皮用にさ
かんに利用されました。日本
では日清、日露戦争のころか
ら、日本白色種が大量に飼育

されるようになりました。
うさぎを数えるときに、一
匹、二匹と言わずに一羽、二
羽と言います。これは、昔、
獣肉を食べるのを忌み嫌って
いた時代に、鳥のような数え
方をしてうさぎを食べていた
からでしょう。うさぎは貴重
なたんぱく源だったので。

悪役や英雄 さまざまな役回り

うさぎの話は、古くは「古
事記」に発しています。うさ
ぎが海の上に並んだワニザメ
をだまして因幡の国に渡ろう
とします。しかし、最後にワ
ニザメの怒りを買ってしまい、
皮をはぎ取られて苦しんでい
るうさぎを大國主命(オホクニヌシ)が救うと
いうお話です。

だれでも知っているうさぎ
の話といえば、「うさぎとカメ
」です。うさぎとカメが向
こうの山まで、どちらが先に
行けるか競争します。早いう
さぎは、カメがのろいを見て
途中で油断して昼寝をして
しまします。その間にカメが

町議会を代表して 謹んで新春のお喜びを申し上げます

新年明けましておめでと
うございます。

明るい希望に満ちた新春を
迎え、町議会を代表し町民の
皆様に心からお喜びを申し上
げます。



町議会議長

白川豊則

げます。

昨年、当町の観光の拠点
となる斜陽館が開館し、多数
の観光客が訪れており喜ばし
い限りであります。

また、斜陽館と連動した観
光物産館、三味線会館の建設
も計画されており、早期に完
成させ有効利用することによ
り、町の活性化を図ることも
議会としての総意であります。

当町の主力産業である農業
振興を図る意味でも、観光の
振興は大事なことだと思っ
ております。

観光振興のみならず、本年
も町民の皆様のご意見を拝聴
しながら引き続き、教育、福
祉、生活関連施設など山積す
る諸問題を、厳しい財政事情
を勘案しつつ慎重審議のうえ
議決機関として皆様方の負託
にこたえ、町発展に尽力する
決意でありますので、町民の
皆様のご協力、ご理解を賜り
たいと思う次第であります。

最後に、皆様方のご健勝と
ご多幸を心から祈念いたしま
して、新年のごあいさつとい
たします。

ゴールするというお話で、地
道に努力すれば必ず成功する
という教訓です。

こうした話は、動物競争物
語として各国にあります。た
だ勝つ方の動物がカメではな
く、ハリネズミ、カニ、ヒキ
ガエル、ナメクジだったりし
ます。負ける方もうさぎだけ
ではなく、ウマ、キツネ、ヒ
ヨウ、ゾウなどさまざまです。

もう一つ、日本の昔話で有
名なのが「カチカチ山」です。
この話にはちょっと残酷なシ
ーンもあるので、最近ではあ
まり語り継がれていないよう
です。

……タヌキにおばあさんを
殺されてしまい、嘆き悲しむ
おじいさんに同情して、うさ
ぎがあだ討ちをします。うさ
ぎはタヌキを新拾いに誘い、
タヌキが背負った薪にカチカ
チと火打ち石で火をつけてや
けどをさせます。さらに、タ
ヌキを泥船に乗せて川に沈め
てしまいます。

うさぎの復讐という筋書き
ですが、知恵が勝利をもたら
すということ、弱きを助け
強きをくじく勧善懲悪の教え
とされています。

うさぎは悪役だったり英雄
だったり、だましたりだまさ
れたり、いろいろな役回り
をこなしています。

よく知られている 月の餅つきうさぎ

うさぎは身近な動物のわり
には、親しまれていることわ
ざりません。

「兎死すれば、狐これを悲し
む」「狐死して兎泣く」は、
同類の死を悲しむということ。
「兎に祭文」は「馬の耳に念
仏」と同じ意味で、言っても
無駄なこと。「兎の登り坂」
は、最も得意とする場所であ
ることを、「兎兵法」
は生兵法のことで、役に立た
ないこと。どのことわざもふ
だんあまり聞きません。

よく知られているうさぎと
いうと、月の餅つきうさぎで
しょう。平成十一年用の寄附
金付・お年玉付五十円郵便切
手および年賀五十円郵便切手
の意匠は、「佐原張り子」の
餅つきうさぎです。これは、
千葉県佐原市の手張りの民芸
品です。八十円の方は、「山
形張り子」の玉乗りうさぎで
す。

二十一世紀に向けた町づくり

第3次金木町総合計画

「太宰のふるさと」かなぎプラン21」

二十一世紀を目前にし、将来の金木町の歩む道筋を定めた「第3次金木町総合計画」がこのほどまとまり、第百六十六回町議会定例会（十二月議会）で可決されました。

これまで、昭和四十八年に金木町総合計画、同六十一年に第二次金木町総合計画が策定され、この計画に基づいて町づくりが進められてきました。しかし、時代の流れとともに目まぐるしく変わる現代社会の中で、今後の経済、社会情勢の変化に対応できる新たな指針が求められてきました。そのため町では、平成十年を初年度とした第3次金木町総合計画を策定し、平成十九年までを目標に、これからの町の姿を明らかにしました。計画の策定に当たっては、町議会議員、教育委員、農業委員、公共団体などの役員、学識経験者ら十八名で構成する総合開発審議会（会長 浅木全一）に諮問し、答申を受けました。

基本構想は、「『太宰のふるさとかなぎ』プラン21」をテーマに、①自然を大切にしましたまちづくり②たくましく活力に満ちた産業の振興③津軽半島の観光拠点づくり④快適な居住環境づくり⑤健康で幸せな人生を送れる福祉のまちづくり⑥伝統ある文化と夢のある教育のまちづくりの六つの柱を基本理念として構想の具体化に努めます。また基本構想・計画に基づき平成十二年までの実施計画も策定し、総合的、長期的な展望を基本に全国に発信できる町づくり、地域住民のニーズに対応した新たな町づくりの方針とするものです。

基本的施策

〈抜すい〉

1 自然を大切にしたり
まちづくり

〔構想〕

限られた資源である町土を生活の場と産業活動の場として自然との調和を図りながら、有効かつ合理的に活用していく。したがって、土地利用計画、農業振興地域整備計画等を基本に秩序ある土地の利用を推進する。

渇水時対策の拡充強化、水利の合理化などの利水対策を推進する。

〔交通体系整備〕

国道に関しては国道339号、県道に関しては主要地方道屏風山内真部線の拡幅整備に取り組み、町道に関しては、住民の足の確保を基本に計画的に整備する。また、産業振興と生産基盤の整備のため、農道・林道の整備を進める。

〔土地利用〕

公共の福祉を優先させ、自然環境の保全を図りながら町土の自然的、社会的、経済的及び文化的条件に十分配慮して、安全で快適な生活環境の確保と地域の均衡ある発展を図る。

また、路線バス及び鉄道については、住民の通勤、通学、日常の買物などの交通便利を図るため運行の確保、ダイヤ改善を働きかける。

〔水利用〕
生活水準の高度化、産業振興に伴う水需要の増加に対処するため、水資源開発保全、

強化を積極的に進める。

〔構想〕
働く人の収入を得る場を確保するため活力ある企業の誘致はもちろんであるが、現在、

2 たくましく活力に
満ちた産業の振興

〔構想〕

働く人の収入を得る場を確保するため活力ある企業の誘致はもちろんであるが、現在、

保するため活力ある企業の誘致はもちろんであるが、現在、

町にある商店、事業所の体質強化を促進する。また、農業については、複合経営と生産基盤の整備を図り、総合的な振興策を展開する。

〔農業の振興〕

農業の大多数を占める中規模農家が着実に農業経営者として生き残れるよう、消費者ニーズに合った作物の栽培、施設を利用した高生産、高収益の複合経営を展開する。さらに、生産環境、土地基盤の整備と併せて農村生活環境の整備も促進し、総合的な農業振興を図る。

〔林業の振興〕

森林のもつ公益的機能の維持を図りながら、森林保育、間伐材の利活用を推進する。

3 津軽半島の
観光拠点づくり

〔構想〕

芦野池沼群県立自然公園を代表する「芦野公園」、町出身の作家太宰治の生家である太宰治記念館「斜陽館」など貴重な観光資源を生かし、広域観光の拠点づくりを進める

とともに産業活性化にも結び付ける。

〔観光の振興〕

自然景観にすぐれた芦野公園の整備を促進し、太宰治記念館「斜陽館」及びヒバの神木「十二本ヤス」などの観光

さらに、豊富な山菜等の林産物が特産品となるよう林業と農業の複合経営の確立を図る。

〔工業の振興〕

町外流出により減少しつつある若年層や地域住民に安定した雇用を確保するため、積極的に企業誘致を推進し、地場企業については個性的な商品開発と販売力の強化を支援し、後継者の育成を図る。

〔商業の振興〕

近代的なサービスの提供と消費者を引き寄せるために、協業化・共同化による商業経営体質の強化を促進する。同時に、機能的で都市的魅力のある商業地域として整備を図る。

資源、桜まつりや地吹雪体験などの多彩なイベントと一体となった通年観光づくりを進め、長期滞留できる宿泊施設の整備促進と増加する観光客を対象とした就労の場の増大を図る。

4 快適な居住環境づくり

（構 想）

町民が自然と環境条件を活用し、都市的で安全かつ快適に暮らせるよう住宅、道路、上下水道、ゴミ処理など住環境と生活環境の整備を計画的に進める。

〈住宅の整備〉

老朽化住宅の建替えや高齢化社会に対応した住宅、空閑用地等環境に配慮した住宅の整備。また、住宅地区には道路整備計画と関連させて住環境の整備を促進する。

〈公園・緑地の整備〉

金木川跡地を活用するなど、住民生活に密着し、防災上からも重要な役割を果たす公園緑地の保全、整備を図る。

〈上・下水道の整備〉

上水道の普及率を高めるとともに、水資源の確保や水源の水質保全、災害時等に対応できる施設機能の強化に努める。

備、交通規制、交通安全教育などを総合的に実施する。

5 健康で幸せな人生を送れる福祉のまちづくり

（構 想）

全町民が健康な生活を送られるように、保健指導、医療体制の充実に努める。また、住民のだけれどが安心と希望を持って生活を送れるよう総合福祉政策を充実する。

〈社会福祉〉

町民の健康保持及び保険医療の充実は、今後の高齢化社会に直接影響するため、町民一人ひとりの保険医療体制の充実と各施設の整備及び福祉サービスの強化を図るほか、出稼ぎ者が安心して就労でき

6 伝統ある文化と夢のある教育のまちづくり

（構 想）

ふるさとを愛し、暮らしたふと思えるよう幼児から高齢者までの生涯の各時期に応じた学習プログラムと民族芸能、伝統文化の保護・保全及び多様化するニーズに対応する文化・レクリエーション・スポ

設備の整備と活用を図る。

〈社会教育〉

子供からお年寄りまで生涯を通じて学ぶことが出来るよう社会教育の機会の拡大と指導者を育成する。また、社会教育活動の場は公民館を中心とし、各種講座、教室、文化レクリエーション等を実施して施設・機能の充実を図る。

〈青少年の健全育成〉

「いじめ」が社会問題化し、健全育成が重要になっていることから、青少年が責任と自覚をもって社会に参加できるよう、学校、家庭、地域社会が連携を取り「ひとつづくり」教育を推進する。

〈文化・スポーツ〉

体育協会と連携し、指導者の育成と運動公園・B&Gプール・嘉瀬スキー場・学校体育施設を利用したスポーツの振興と充実を図る。また伝統的祭り、伝統芸能、遺跡、名所旧跡等数多くの文化財を活用し、地域活性化と地域のコミュニティ振興に結びつくよう積極的に推進する。そして、資料館や公民館等の文化活動の拠点となる施設の整備と文化活動の支援に努める。

〈保健衛生〉

疾病予防体制と医療システムを強化し、子供からお年寄りまでの健康を守るため、成人病予防、母子保健、健康相談などの健（検）診、保健指導の強化に努める。また、病後回復者や後遺症者に対する保健指導、機能訓練の充実と介護サービスの早期実現に努め、医療機関と連携し二十四時間救急医療体制の強化をさらに推進する。

〈学校教育〉

基本的な学力と知識を身につけさせながら児童、生徒の個性を尊重した教育を推進する。また、国際化、情報化に対応した教育の充実と新しい時代にふさわしい学校施設・

1ツの振興に努める。

地域住民と
行政との
パイプ役

民生・児童委員

決
ま
る

地域住民と行政とのパイプ役である民生・児童委員の辞令交付式が十二月七日、役場で行われ、厚生大臣から委嘱された三十六人に鳴海町長が辞令を交付しました。

民生・児童委員は、社会福祉の増進に努め、地域住民の実情を把握し、生活困窮者の保護指導や各制度の手続き方法など、町民の皆さんと役場や福祉事務所とのパイプ役として助言、指導するのが主な仕事です。

職務遂行に当たっては、個

人の人格を尊重し、身上に関する秘密は厳守されていますので、地域内での困り事、日ごろの悩み事などがありましたら、地区担当の委員にお気軽にご相談ください。

また、辞令交付式後の組織会で木村治利さん（新堤町）が総務に選ばれました。「委員の方々と協力し合い、連絡を密にして地域の高齢者、身障者の声を関係機関に反映させていきたい」と抱負を語っていました。なお、任期は平成十三年までです。



木村治利総務

▼金木地区

担当地区	氏名	電話番号
神原	前田和子	53-2174
蒔田	吉田則昭	52-4076
沢部	白川ユキエ	52-2497
三軒町、新富町	白川幸雄	52-4084
小川町、米町	新岡正一	53-2561
芦野町、寺町、浦町	成田千セ	52-5775
南新町、田町	◎福士兼次郎	53-3211
本町、栄町、川端町	徳田キヨエ	52-2486
神明町、北新町	山崎惣三郎	52-3049
朝日町・朝日団地	秋元金則	53-2565
昭和町	神義吉	53-2820
上・中山道町	竹内久美子	52-4725
美晴町、下山道町	黒滝登	52-2964
見崎町、芦野団地	逢坂昭子	52-2275
若松町	佐藤信一	52-2712
藤枝	工藤鉄男	52-2801
湯の川、向道	菊池義勝	52-5606
女坂、林下	白川テイ子	53-2109
上・下宇田野	泉谷和磨	52-4577
大東ヶ丘、旭ヶ丘団地	○白川庄治	52-3584

▼嘉瀬地区

担当地区	氏名	電話番号
上・下中柏木	○田中操	52-3209
上新町・下新町	今哲三	52-2221
上・中・下小栗崎	花田明	52-2776
東町、上・中派立	木下節子	52-3497
下派立、上・下昭和町	鎌田政子	52-3485
冷水、本町、車町	内海勝興	52-3487
後町、畑中	山中忠	53-2992
新堤町、鍛冶町、新誠町	※木村治利	52-2811
上・下古町	秋元良子	52-2276

▼喜良市地区

担当地区	氏名	電話番号
下町、川端町	今ハツエ	52-3149
上・下柏木	今澄子	53-2453
上・下派立、双葉町	桑田昭一	53-2841
南・北本町	岡田満弘	52-2679
野崎、林町	◎鳴海賛	52-4897
東・西岩見町	元石美枝	52-4614
更生部落	今美子	52-4845

※総務 ◎副総務 ○監事

新年明けましておめでとうございます。いろいろありました激動の1998年も過ぎ去り、いよいよ21世紀まで二年を切りました。町民の皆さんにとっての1998年はどのような一年だったのでしょうか…。金木町も昨年は、太宰没後50年の節目の年に当たり、太宰ブームでにぎわった年でした。一方で、全国的な景気低迷の影響で暗い出来事が多かったような気がします。

「今年こそは」、そんな思いを抱いて新年を迎えた方もいるのではないのでしょうか。「こんなことがあった」「あんなこともあった」と、広報で昨年を振り返ってみます。



「金木小に郷土美術館」

子供たちに心の教育を、と金木小で郷土美術館を開館。母校の先輩たちが絵や書を寄贈。その空間は何とも言えず、皆さんはご覧になりましたか。(3月24日)



「河口湖町と友好都市協定締結」

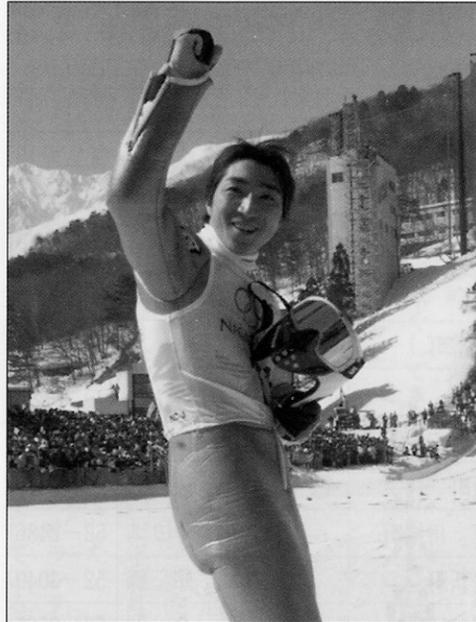
「太宰治」という共通の人物を通し、文化、観光交流を—と、山梨県河口湖町と「太宰のふるさと友好都市協定」を締結。心強い仲間を得ました。(4月17日)



テープカットの瞬間、斜陽館前はオープンを祝う町民や報道陣であふれかえった。(4月17日)



「迷子のカモシカ」
 国の特別天然記念物に指定されている「カモシカ」が、ひよっこり金木小へ迷い込む。正月そうそうの「珍客」に係者はあたふたするばかり。(1月9日)



「冬季オリンピック」
 当初のオリンピック選手・古川純一さんが、二大会連続で長野大会に出場。町民の期待にこたえ、見事な大ジャンプを見せてくれた。(2月13日)



「太宰治記念館『斜陽館』オープン」

待望の斜陽館が太宰治記念館としてオープン。明治末期からの津島家の繁栄ぶりを物語る豪邸。「太宰文学の原点はこの家である」と長女の津島園子さん。(4月17日)